

4月29日(日) つつじ祭り(惣陣が丘)

霧島總局・山下翔吾

## 記者の目

霧島市福山の牧之原地区にある惣陣が丘(標高483・5m)を「存じだらうか。1561(永禄4)年、島津氏と肝付氏による廻城攻防で、島津貴久・義久親子が本陣を置いたとされる。斜面には縦50m、横250mの花文字「フクヤマ」があり、地区的シンボルとして定着している。

先日、花文字の維持管理などに取り組む地元のNPO法人「霧島ふつぎやまぼつけもん会」(24人)が設立30年を迎えた。「福山に日本一をつくろう」とのアイデアをきっかけに、住民ら300人が以上がツツジ約6千本を植樹して完成させた花文字。これまで福山をPRする「案内板」の役割を果たしてきた。

### 「フクヤマ」の象徴

3年前には頂上に展望所が完成。麓の駐車場から歩いて約15分、晴れた日は霧島連山や高隈山系、桜島などをグルッと見渡すことができる。遊歩道にある鹿児島弁の道しるべもユニークで、鹿児島大学の井村隆介准教授は「こんなにたくさんのが見える場所は他にない」と太鼓判を押す。

ただ、市内唯一の絶景スポットでありながら、来訪者は決して多くない。トイレなどの施設整備や情報発信が十分でないのが理由だろう。川畠巧理事長(68)は「もっとたくさんの子どもたちが訪れる場所にしたい」と言う。観光客や家族連れでにぎわう場所にするには、まだまだ改善の余地がありそうだ。

— 2018・5・10 —

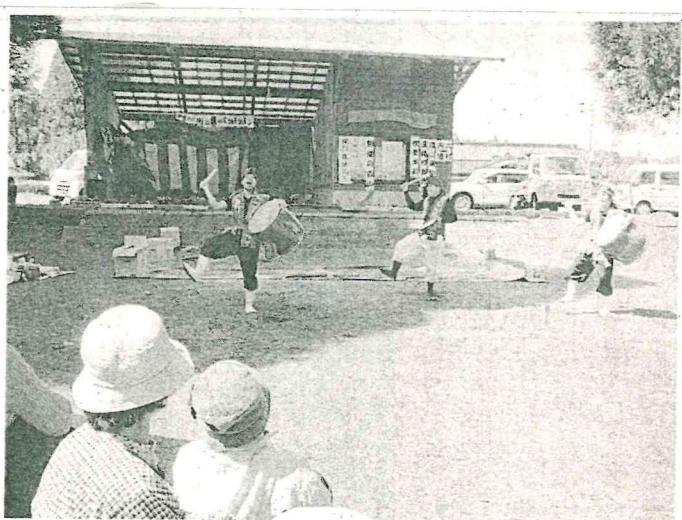
5月3日(木) はやま祭り(佳例川羽山神社)

霧島市福山町佳例川の羽山神社で3日、農作業の安全を願う「羽山まつり」があった。福山・羽山まつり

農舞台で演舞 地元住民満喫

第一工業大学4年の當銘由也さん(21)は沖縄出身の同級生2人とエイサーを披露した。大太鼓を担ぎながらの演舞で会場を沸かせ、「小さな集落のお年寄りに喜んでもらえてうれしい」と笑顔を見せた。

(濱田朋美)



エイサーを披露する第一工業大学生  
=霧島市福山の羽山神社